



あいのわ福祉会

Ayase River Times

みんなで 「ほっと、いっしょに、いきいきと」
～安心・信頼を大切に 共に考え・学び お互いの自己実現を目指します～

<施設長より>

7月24日(土)「第12回綾瀬いっしょ祭」を無事盛大に開催することができました。

猛暑の中、お越しいただきました地域の皆様、関係諸機関の皆様、ご協力いただきましたボランティアの皆様に心より御礼申し上げます。

さて、施設管理者でありながら看護師でもある私は、入職以来福祉施設の看護の在り方について多くの疑問を持ってきました。

「訪問看護と介護」という雑誌の7月号に厚生労働省の「特別養護老人ホームにおける看護職と介護職の連携によるケアのあり方に関する検討会」の委員長である医師の太田秀樹氏が、 “在宅の現場からいま必要とされていることを問う” という論文を書かれている。その中で看護と介護の協働の在り方について①介護職には基礎資格と自己研鑽を、②看護師には意識改革と誇りをと述べている。その一部を紹介したい。

——(前略) 命を救うことだけが看護の目指すものではない。人生を支える看護に医師を頂点とした急性期医療の古い体制をそのまま持ち込むと、まるで看護師が介護職の上位に存在する錯覚にとらわれる。看護師には役割の違いとチームの重要性を認識してほしい。「介護職をどのように指導するか」から「介護職から何を学べるか」への意識改革が大切だ。(中略) 高齢者施設での看護や訪問看護こそ、看護師が主体的にその機能を発揮しエンパワメントできる領域である。誇りをもって地域看護に力を注いでもらいたい。(後略) ———

障がい者施設の看護環境は、高齢者施設や訪問看護の看護環境と似ている。

そこには看護師にとって先進的な医療行為は皆無である。病院で毎日体験するような刻々と変化する病態や検査データもない。それなのに医師不在、医薬品なし、器材なしの丸腰で、誤嚥による窒息・重積発作・急な怪我や熱発等、何でもありの状況の中に、奇妙な緊張感を持ちながら勤務することになる。しかも当施設は重度な上に会話が困難な利用者が多い。ビシッとした看護師自身の意識改革なしでは、先進的医療行為がない上に辛い職場ということになる。

福祉施設で働く看護師はみんな「人生を支える看護」という意識を持つことができているのだろうか。持てる社会環境があるのだろうか。

福祉施設の管理者自身が、医師を頂点とする急性期医療体制的思考から脱却できず意識改革

できていないのが最大の課題なのではないのだろうか。

8月2日(月)、当施設にNHK番組「プロフェショナル・仕事の流儀」で紹介された訪問看護師の秋山正子先生に講演に来ていただく予定である。著書「在宅ケアの不思議な力」も読ませていただき感銘を受けた。訪問看護師としてのスキルはもちろん、「豊かな人間力と訪問看護師としての覚悟」をお話の中から学ばせていただきたい。

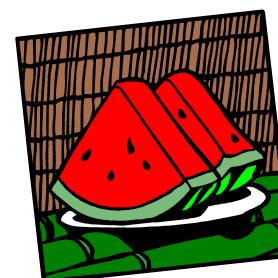
(太田 記)

<事務室より>

毎日本本当に暑いですね。この猛暑の中「綾瀬いっしょ祭」が7/24に開催されました。毎年多くのボランティアさんにお越しいただき、今年も100名以上の方々にご協力いただきました。事務室からは毎年恒例の喜田家さんのどら焼きと今回初のパーゴルフゲームを出店! どら焼きは「黒糖どら焼き」と更にしっとりと大好評! NAKAMAの会の方と高校生のボラさんのご協力によりパーゴルフも大盛況でした(^_^)v 4階の利用者さんが遊びに来てくれた時には景品がなくなり終了... ごめんなさ~い(>_<)汗だくでTシャツを何枚も着替えながら、ちびっ子の相手をしてくれた高校生の青年に心が癒されました(*^_^*)海水浴に出かけたくなるようなあの暑い日に、地域の皆さん、そしてボランティアの皆さん、綾瀬あかしあ園へ足を運んでいただきましたことを心から感謝しております。ありがとうございました!! (高原 記)

<保健室より>

暑い!暑い!を連発する毎日ですが、皆さんちゃんと『汗』をかいていますか?人は汗をかいて体温を調節し、自分の一番大切な「脳」を守っています。これが、汗をかかなくなると熱が発散されず、大変なことがあります。“いい汗”をかく為にも、クーラーの効きすぎは要注意です。暑くても適度に身体を動かし、汗をかきましょう。その時の注意点を少しばかり。まず、汗をかいても完全には拭き取らないこと。抑えて拭き取る程度でOK。時には濡れタオルなどで拭いて、肌に水分を与えることが必要。そうすることによって乾燥肌から皮膚を守り、ひいては“いい汗”をかくことに繋がっていきます。嫌がらずに汗はかきましょう。



< 2Fにこにこグループより >

園祭お疲れ様でした。とても暑い日に行われましたが、沢山の方が来園して下さい、すごくにぎわった園祭でしたね。

さて、にこにこグループのイベント&にこピンはどうでしたか？イベントは短い期間でしたが、みんな一生懸命に練習した成果が、発揮できていたのではと思います。

今年のにこピンは、男女に分かれて2つ、にこピンを作成しました。男にこピンは、自分達の写真をマッチョの絵が描かれた上に貼り、男らしさをアピール。女にこピンは、ミッキーマウスやお城の絵を描き、メルヘンに仕上げました。男女それぞれが、個性溢れるにこピンに仕上がったと思います。

(土井 記)

< 3F ゆいま～るグループより >

前日まで「横～！前～！」と声を出しながらダンスの練習をたくさん行ない、いよいよ園祭当日…。出番が近づいてくると、皆さん緊張していた様子でしたが、いざ本番になると、ニコニコの笑顔でダンスを踊っていました！中には、感動して涙を流される利用者さんもいらっしゃいました。練習の成果もあり、ダンスも大成功で終えることが出来ました！

保護者の皆さん、ボランティアの皆さん、地域の皆さんに支えられて、無事に園祭を終えることが出来ました。ご協力ありがとうございました。

(相田 記)

< 4F グループより >

利用者の皆さんが大変楽しみにしていた「綾瀬いっしょ祭」も猛暑の中、多くの方々のご支援、ご協力のもと盛大に無事終えることができました。

4Fグループのイベント大塚愛の歌「スマiley」の手話ダンスも練習のおかげで、利用者の皆さんが一つになってパフォーマンスを繰り広げることができました。また自主生産品の出店もTシャツなどの値段を安くすることで、大変好評で、利用者の皆さんが時間交代で店番をして高い売上に貢献しました。しかしもうすでに利用者の皆さんの気持ちは宿泊行事に移り、その話題で盛り上がっています。

(橋本様 記)



< いっしょ祭実行委員長より >

7月24日に第12回綾瀬いっしょ祭を開催することが出来ました。今年のテーマは「深めよう絆 広げよう笑顔の輪 ~みなさま~ Let's Summer Party !! ~」でした。当日はものすごく天気が良く、サマーパーティーにはもってこいの天候！！当日までは色々とありましたが、地域の皆様、ボランティアの皆様、保護者会の皆様のご協力により、当日の会場ではテーマである絆・笑顔の輪が見ることが出来ました。本当に感謝をしています。ありがとうございました！！！



(中村 記)



今月のボランティアさん

さて、今月のボランティアさんは何人？

6月22日～7月28日まで…

延べ 109人！！！

綾瀬あかしあ園では、日常的な活動をお手伝いいただけるボランティアを常時募集しております。詳細については地域ボランティア担当 神野・石田・尾臺宛にお電話ください。

(地域ボランティア担当一同 記)

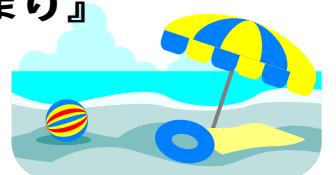
☆ 8月の予定 ☆

3日 クラブ

9～13日 夏季休業日

24日 訪問美容サービス 『陽だまり』

25日 全体健康診断



< 編集後記 >

園祭が終わり、あっという間に8月となってしまいました。8月に入ると長い夏休みが待っています。皆さんは、どの様に夏休みを過ごされますか？今から待ちどおしい人も多いのでは？まだまだ暑さの厳しい日々が続きます。体調を崩さずに、この夏を乗り切っていきたいと思います。

(石田 記)